

令和4年度(2022年度)第5回長房中学校区地域づくり推進会議 議事概要

日時	令和4年(2022年)10月16日(日)9:30~12:00
場所	長房小学校 プレイルーム
出席者	参加者：縣、宇田、菅野、清水、鈴木、竹下、塚本、西山、野副、本堂、松葉、森、山陰 見学者：高坂 高齢者あんしん相談センター長房：古座野 はちまるサポート長房：河瀬 八王子地域 PAL-ETTE：海津、松村 浅川地域事務所：清水 未来デザイン室：野田、安齋、牧瀬 (株)アール・ピー・アイ：笠原、岩崎、中井、吉川
配布資料	・令和4年度(2022年度)第5回長房中学校区地域づくり推進会議資料 ・資料1 事前ワークシートまとめ ・資料2 第4回推進会議のテーブル検討結果 ・資料3 ゼロカーボンシティの実現に向けて地域に取り組んでほしい事業一覧 ・資料4 地域フォーラムチラシ(案)

1 開会

未来デザイン室から挨拶。

事務局より本会議から新たに参加した竹下氏、高坂氏について紹介するとともに、今後も参加者として出席いただくことについて全体で確認した。

異議なし。

2 本日の議題確認

会議資料をもとに、本日の検討事項を確認した。

3 議題

(1) 運営担当打ち合わせの報告

10月1日に実施した運営担当打ち合わせにおいて、「アクションプランの検討」や「推進会議の体制」などについて協議し、代表して清水氏から全体に共有いただいた。全体への報告概要は以下のとおり。

< 報告概要 >

- ・アクションプランについて、これまでに出了様々なアイデアや意見を参考にして効果的な取組を検討した。
- ・その結果、今後4年間で取り組むアクションプランとして「地域食堂」「目的別の教室」「ハロウィン」「フリーマーケット」「公共施設の再編」の5つとしてはどうかという結論に至った。
- ・推進会議の体制は、全体会(推進会議)が意思決定機関を兼ねてもよいのではという意見が出た。
- ・推進会議の目的や役割などを改めて第5回推進会議で確認した方がよい。
- ・地域フォーラムでの発表は運営担当が行い、意見交換のテーブルファシリテーターをそのほかの推進会議参加者が行うことを第5回推進会議で確認することとした。

(2) アクションプランを検討しよう

運営会議で調整・検討を行った「多世代のつながりづくり」に関する5つのアクションプランについ

て全体で意見交換し、今後4年間で進めていくことを確認した。意見交換の内容は以下のとおり。

<意見交換>

・5つのアクションプランは今後必ず決めたとおりに実施しなければいけないということか。

今後検討するなかで実施方法を変更することは問題ない。(未来デザイン室)

・学校(公共施設の再編)が入っているが、この場のみんなで考えたことを市は受け入れる準備はあるのか。

皆さんの意向を伺えるような体制構築を進めたいと考えている。(未来デザイン室)

・どこまでを公共施設として設定しているのか。学校以外にも高齢者あんしん相談センター長房やシルバーふらっと相談室といった施設も対象なのか。

公共施設は、全市的施設、地域的施設、生活圏域施設の3つに分類している。そのうち、今回の公共施設の再編を行うに当たって対象とする施設は、学校や保育園、幼稚園などの生活圏域施設が中心となるが、他施設についても必要に応じて検討していく可能性もある。(未来デザイン室)

意見交換後、5つのアクションプランについて実際に進めて行くためのアイデア出しをグループに分かれて行い、その後、全体に報告した。全体への報告概要は以下のとおり。

<報告事項>

地域食堂

[Aグループ]

・東団地のサロンの取組について、アルプスと意見交換を行った。

・今後、東団地とアルプスが連携し、食品ロスを削減する地域食堂のモデルとして取り組んでいく可能性がある。コピオ長房内にあるコミュニティスペースの活用も視野に入れていきたい。

[Bグループ]

・各町会で実施していた子ども食堂は、コロナ禍により停止してしまっている。再開している食堂も、その場で食べるのではなく、お弁当を渡す方式で実施している。

・今後、以前のような方法で実施ができるのかが疑問。

・円安や物価上昇の影響で、ひとり親家庭の負担が大きくなっているため、地域食堂のニーズも高まる可能性がある。今後どううまくやっていくかが重要なポイントになるのではないかと。

目的別の教室

[Aグループ]

・スマホ教室は若い世代の方、または大学生を講師として開催するのがよいと考えているが、ボランティアであっても交通費等の確保は必要である。

・開催場所は決めずにできるところでやるのがよいのではないかと。

・無料学習塾は地域の大学生が参加することで、多世代交流を図り、次世代の人材発掘にも繋がる。

[Bグループ]

・司法書士会では特殊詐欺の勉強会を地域で開催している。ヤクルトや明治は健康教室などの取組をしている。スマホ教室は東京都の助成金を活用して実施できる。様々な教室を模索したい。

・既存の取組も含めて実施していきたい。

・住民を先生とした勉強会もやっていきたいが、まずは企業のもを活用してはじめていけるとよい。

ハロウィン

[Aグループ]

・多世代交流の場として東団地で昨年実施し、想像以上の人数が集まり大盛況だった。

・昨年は子どもたちが歩きながら謎解きをする予定だったが、悪天候で急遽集会場での開催となった

にも関わらず子どもたちは楽しんでいた。

- ・学校と連携し、参加する子どもの人数を把握する必要がある。(参加人数によって規模が変わる)
- ・東団地から長房全体に広げる場合は、規模が大きくなることからお菓子の費用など経費面を考慮する必要がある。

【Bグループ】

- ・実施する前は、多世代で楽しめるか疑問もあったが、実際にやってみると老若男女を問わず大勢参加してくれた。子どもが来ると大人も来て、知らない方との交流も広げることができた。
- ・実施に当たっては、高齢者あしん相談センター長房をはじめ、たくさんの方に支援していただいたほか、ノウハウ等を教えてもらった。
- ・昨年は雨のため集会所で実施した。雨天でも実施できる場所の確保は必要。その際には、大勢を収容できる施設調整や未利用地でのテント設置などがよいのではないかと考えている。
- ・昨日ハロウィンに向けたワークショップを実施したが、参加者があまり増えず、子ども達もあまり来なかった。要因として、土曜日が仕事で来られない大人が多く、それにより子どもたちが参加できなかったのではないかと考えている。実施する曜日も考えていかなければいけない。
- ・初めから大規模なものを実施することは難しいので、自治会・町会で実施しスキルや経験を活かしながら、長房全体に展開していく形がよいのでは。
- ・今後は、アルプスのフードロスの取組とも連携できるとよい。

フリーマーケット

【Aグループ】

- ・3年前に東団地で物々交換のイベントを実施し盛況だった。交流の場としてもよいと考える。今後の参考になるのではないかと考えている。

【Bグループ】

- ・現在、地域で朝市・マルシェ(キッチンカ)が実施されており、今後、バザーやフリーマーケットのようなことをやっていければよい。
- ・フリーマーケット単体で実施するのか、全部をマルシェとして規模感を大きくするのかという部分も検討が必要。北団地跡の未利用地を活用して、ハロウィンと合わせて大きい規模で実施してもよい。
- ・いきなり大きい規模で実施するのは難しいので、小規模なものから始めていく。
- ・マルシェの実施に当たっては、今実施されている方から話を聞くようにしていけるとよい。

(3) 推進会議の体制について

会議資料をもとに、地域づくり推進会議の活動内容を確認した。また、運営担当とともに検討した令和5年度(2023年度)以降の推進会議の体制について提案し、意見交換を経て当面の活動体制が了承された。意見交換の内容は以下のとおり。

<意見交換>

- ・将来的に組織や運営体制がどうなっていくのかを考えることは必要である。今のように市が関わるのはいつまでか。その後はどう進めて行くのか。資金・財源も考えていくことが必要。
- ・体制案はそのままではよいと思うが、周知する必要があると思う。
長房中学校区はモデル地区としてこれまで検討してきた。事務局では、今後の推進体制として、市からどういった支援が必要なのか、どうしたら地域の皆様による運営を進めていけるのか、それに伴う市の役割は何か、といった部分を皆様の意見を伺いながら整理を進めている。今後、このような意見交換を通じてよりよい体制などを構築していきたい。(未来デザイン室)
- ・本日検討した5つのアクションプランは、今の情報発信の3部会に加えて増えていくことになるのか。

現行の3つの部会に加え、5つのアクションプランを取り組んでいくこととなると、最大で8つの部会を設置することとなるが、部会への関わりに強弱をつける、複数の部会をまとめて1つの部会にするなど、やり方は様々であるため、次回以降に検討していきたい。部会には、現行の推進会議参加者だけでなく、フォーラムや団体での情報発信により、参画したいと申し出た方々も積極的に参加してもらってもよいと考える。(未来デザイン室)

- ・所属団体という表現で記載されているが、これらの団体はこの推進会議に属するものになるのか。団体が傘下になるというわけではなく、その部会に関わっていることを指している。(未来デザイン室)
であるならば、表現を「関係団体」に修正してはどうか。誤解を招く恐れがある。(参加者)
関係団体に修正させていただく。(未来デザイン室)
- ・推進会議は中学校区単位のため、南団地からの参加者が入っていない。
長房団地で情報共有する際には、代表者4人に参加いただく必要があるとの意見もあるが、各団体が同様に複数人参加するとなると、それだけ人数が多く、検討していくことが難しくなっていく。人を増やすこと以外にも、推進会議参加者から各団体へ情報を共有していくしくみを考えていくことも必要ではないか。(未来デザイン室)
- ・中学校区で分けると長房が分断することも考えられる。フォーラムではいったん共有を図るために横山中学校区でも長房町の方には入ってもらえるような柔軟さが必要ではないか。
フォーラム参加者の募集要件には、柔軟に対応できるよう「長房に関心がある」という記載をしている。(未来デザイン室)
- ・推進会議にしても、フォーラムにしても学校再編に伴う学区変更を想定して活動した方がよい。
学区に関する方向性が示されていないなかでは、現行の学区で進めていくのがよい。学校再編に関する内容については、学校教育部の担当所管から回答させていただきたい。(未来デザイン室)
学区は生徒数などを勘案されて決定されている。それ以外にもさまざまな圏域の考え方がある。地域づくり推進会議の中学校区は地域をよくするために考える単位として捉えていただきたい。次回の推進会議において、地域の実情として横山中学校区のエリアを一部取り入れながら、どのような形で情報を発信していくかなどを前向きに検討していきたい。(未来デザイン室)
- ・長房町は、2つの中学校区にまたがっている。長房ふれあい端午まつりなどのイベントは主に長房町会が関わっていることから、中学校区内及びその周辺にも情報共有が必要。
- ・市営団地の方が入っていない。長房町としてまとめることを考えると、推進会議だけでは済まない。
- ・中学校区の中でも、代表が出ていない団体や地区については、どのように情報共有を図っていくか、漏れない連絡体制が重要である。
多様な意見の聴取に関連して、漏れなく伝わっているかの確認や合意が必要ではないか。(未来デザイン室)
- ・今後部会に若い世代を増やしていきたい。
部会に新しい参加者を追加するに当たっては、全体会にも共有すべきであると考えている。(未来デザイン室)

(4) 地域フォーラムの開催に向けて

会議資料をもとに、地域フォーラムの開催内容や流れについて説明を行った。フォーラムでの発表は運営担当が行い、意見交換のテーブルファシリテーターをそのほかの推進会議参加者が行うことを確認した。

(5) 部会活動の共有

各部会の活動状況について共有する事項がある場合は、お話しいただきたい旨を説明した結果、各部会よ

り報告があった。主な報告内容は、以下のとおり。

【施設部会】

- ・10月29日に部会開催予定。

【イベント部会】

- ・定例会は本日の推進会議後に実施する。イベント部会として配布する資料の共有を行う予定。

【SNS部会】

- ・投稿のためのルールを決める必要があると、前回の推進会議後の部会で決めた。
- ・次回の会議開催については、本日の推進会議後に決める。

閉会

令和4年度(2022年度)第4回長房中学校区地域づくり推進会議議事概要(案)を配布し、修正等がある場合は、令和4年(2022年)10月24日(月)までに事務局へ連絡するように依頼した。

地域づくりを市全体に展開するに当たり、地域づくりに関する内容などを発信する普及啓発動画を事務局で作成することを説明し、令和4年(2022年)10月29日(土)に施設部会の撮影を行うことを報告した。

地域フォーラム及び第6回推進会議の開催日程を確認した。

フォーラム:令和4年(2022年)11月13日(日)14:00~16:00

第6回:令和4年(2022年)12月10日(土)9:30~12:00

以上